

大分市地域まちづくりビジョン

大分東部地域ビジョン会議 通信 第3号

発行：大分東部地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第3回大分東部地域ビジョン会議



- 平成29年10月30日（月）19：00～
- 大分東部公民館
- 開会
- 一、会長あいさつ
- 二、議事
 - 1 第2回ビジョン会議の整理
(前回グループワーク意見のSWOT分析資料説明)
 - 2 グループワーク
まちづくりコンセプトとりまとめ
まちづくりの方向性
まちづくり事業の検討
- 三、その他
- 閉会



グループワークの流れ

テーマ1 ビジョン(コンセプト)を導く

まちづくりビジョン図に書き込まれた文章を読んで相応したビジョン(コンセプト)にシールを貼り投票を行います。

テーマ2 SWOT分析によるまちづくり事業を導く

- ①SWOT図の説明(加筆修正)
 - ・SWOT図の内容を見直し加筆修正作業を行う。
- ②まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT分析による事業の抽出
- ③SWOT対象図
 - ・事業の抽出をすると共に該当する地点を図面上に落とす作業を行う。
- ④まちづくり事業一覧による事業化の可否の確認
 - ・考案者が班のメンバーに事業の趣旨を説明し、メンバーの合意を得る。



成果発表

テーマ1

第2回ビジョン会議で各班の導いたビジョン(コンセプト)を参加委員の皆さんが投票により一つのビジョン(コンセプト)を導きました。

コンセプト案

- 『三代元気で思いやりのある ひとづくり・まちづくり』・・・6票
- 『新日鉄住金とともに!』・・・・・・・・・・・・・・・・・・1票
- 『緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり』・・・8票

投票結果：共通ビジョン(コンセプト)案として『緑豊かな東部地区 子どもに高齢者にやさしいまちづくり』を導きました。

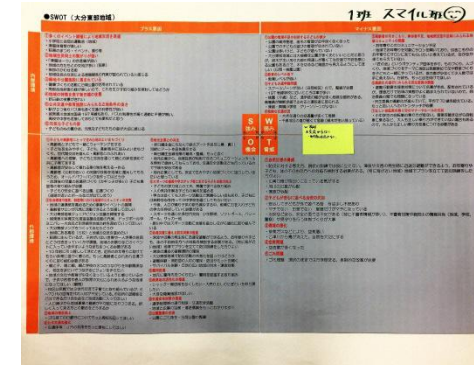


テーマ2

①SWOT分析によるまちづくり事業を導く
これまでのビジョン会議で出された意見の整理を行ったSWOT図に見直し加筆修正を行いました。

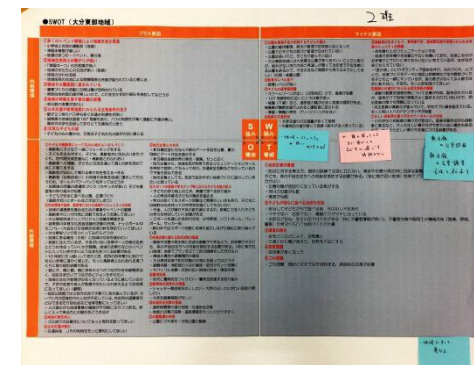
1班 加筆修正項目

- ・交流が少ない。世代間の交流がない(W)



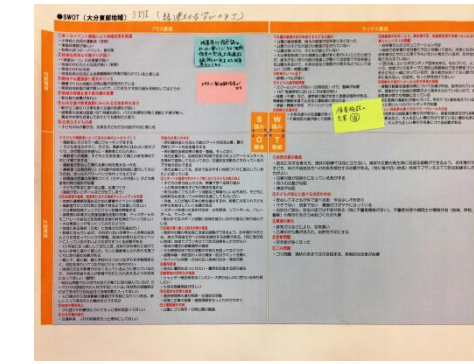
2班 加筆修正項目

- ・地域コミュニティが弱い地域がある(W)
- ・親が仕事から帰ってくるまで子どもが安心して過ごせる場所がない(W)
- ・新日鉄住金の公害問題(W)
- ・新日鉄住金の公害調査方法を考え直す(W)

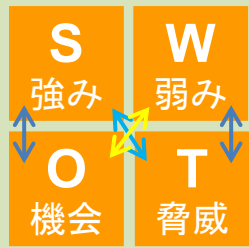


3班 加筆修正項目

- ・城東原川体文協やわいわい夢くらぶなど地域住民の交流を促進する組織がある、また城東祭りなど(S)
- ・地元の新日鉄住金がある(S)
- ・保育施設の充実(W)



- ② まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT分析による事業の抽出
- ③ SWOT対象図に事業を抽出すると共に該当する地点を図面に落としていきました。



- ①SO「S:強み」×「O:機会」(活用・積極姿勢)
 - ・「機会」に応じた「強み」の活用策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
- ②ST「S:強み」×「T:脅威」(改善・差別化)
 - ・「強み」を生かした「脅威」の解消策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点にたった施策
- ③WO「W:弱み」×「O:機会」(改善・弱点強化)
 - ・「機会」を生かした「弱み」の改善策
 - ・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点補強の施策
- ④WT「W:弱み」×「T:脅威」(回避・防衛、撤退)
 - ・「脅威」に対する「弱み」の回避策
 - ・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

1班 (スマイル班)



抽出された事業

- ① イベント開催による地域交流が盛んな明るく楽しいまちづくり (SxO)
- ② お年寄りによる公園管理の事業 (WxT)
- ③ 牧祭りの活性化による地域の活性化事業 (SxO)
- ④ 交通安全対策の推進事業 (WxO)
- ⑤ 子どもが活動する場を増やす (SxO)

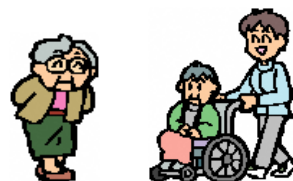


2班 (ふじさわ班)

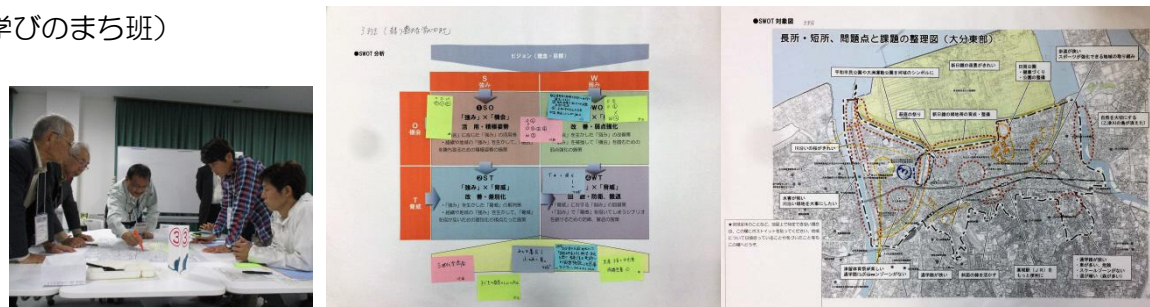


抽出された事業

- ① 地域の子供部屋 (WxO)
- ② 放課後子供広場の開設 (WxT)
- ③ 緑地帯活用事業 (SxO)
- ④ 避難行動要支援者対策事業 (WxO)
- ⑤ オールドパワーバンクを作る (WxO)



3班 (緑豊かな学びのまち班)



抽出された事業

- ① 出産子育てが出来、待機児童ゼロ (SxO)
- ② 子ども教育のレベル向上 (SxO)
- ③ 大分市の文教地区として「子どもを対象とする科学・文化を学べ、多様性を発揮できる教育施設」を整備 (WxO)
- ④ 3世代交流会 (SxO)
- ⑤ みんな集合! ふれあい屋 (WxT)



- ④ まちづくりアイデアを導き出した考案者が班のメンバー及び事務局と共に話し合い事業を導き出した。
- 成果発表: 班の導いた事業の主要なポイントを発表しました

【1班 (スマイル班)】
①と③の内容はイベント開催や祭り関係で交流を深めていく事業です。②はお年寄りによる公園管理事業です。弱みの中でお年寄りが引きこもりになりがちだということで、公園の管理をお年寄りにしてもらい、子どもたちが安全に遊べるようにという事業です。④の交通安全対策の推進事業は、自転車等の交通ルールを教えたり、また道路が狭い場所がかなり多いということから挙がっております。⑤は子どもが活動する場を増やすということで、いろいろなものを作ったりして、最終的には東部地区から利益が生まれるようにしていきたいということで挙がっております。

番号	事業名	SWOT分析										コメント
		S	W	O	T	S	W	O	T	S	W	
①	イベント開催による地域交流が盛んな明るく楽しいまちづくり	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・三世代交流の促進には祭りがよい ・青年部で民生委員の手助けができれば
②	お年寄りによる公園管理の事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・高齢者を外に出す機会に ・子どもの安全を見守る ・全ての公園が対象
③	牧祭りの活性化による地域の活性化事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・牧祭りで地域の活性化 ・子どもの減少や団塊の世代の参加者が不足している →将来に対して運営できるか懸念される ・地域の高齢者の知識、力を地域に還元してもらいたい
④	交通安全対策の推進事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・正しい自転車のマナーやルールを教える ・学校周辺で実施
⑤	子どもが活動する場を増やす	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・三世代交流のワーキング大会の実施 →松栄山まで歴史探索 ・芋掘り →お菓子やパンなどに6次産業化

【2班 (ふじさわ班)】
①②の事業は同じ事業で、地域の子供部屋、放課後子供広場ということ、現在共働きの世帯が多く、子供が家に帰っても家に誰もいない家庭が結構あります。そこで地区の公民館などを開放して、高齢者が、勉強を教えたり自由に過ごすことができる場を設けたいという事業です。③の緑地の活用事業はグリーンベルト、緑地をきれいに整備してまちづくりを行う事業です。④は避難行動要支援者対策事業で、有事の際に支援が必要な方をどう救助するかの対策を考えていく事業です。⑤のオールドパワーバンクは、引退された高齢者のスキルを活かすようなバンクを作って、各人のスキルを登録して、活用できるような事業を行いたいと考えています。

番号	事業名	SWOT分析										コメント
		S	W	O	T	S	W	O	T	S	W	
①	地域の子供部屋	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・共働き世帯の子ども達を見守る場所 →夏休みに実施したら毎日15人ほど来る →普段でもできれば ・子どもを1カ所に集めたら勉強をする ・地域の学力を向上させる必要もある
②	放課後子供広場の開設	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・共働き家庭の子どもが安全に過ごす場所があれば ・子どもが遊んだり勉強できたりする場所 ・治安対策で保護できる場所
③	緑地帯活用事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・使われていない緑地帯の活用 →花、野菜を作り地域に配布 →地域の交流も図る
④	避難行動要支援者対策事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・要支援者の名簿はあるだけで活かされていない ・近所に声をかけられるような関係を作る事業を行う
⑤	オールドパワーバンクを作る	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・定年した方(若い高齢者)の力を活かしたい →能力を活かしたい方と能力を借りたい方を巡り合わせる事業 →自分の力を届け出る銀行みたいなものを作る ・公民館などの場所が手狭になっている →空家を活用して、学習の場を設けられないか

【3班 (緑豊かな学びのまち班)】
①は出産・子育てが出来、待機児童をなくす事業で、お母さんたちが子どもを預けてすぐ仕事に行けるような状況、保育士さん不足や待機児童問題を解消して行ければと考えています。②③は子供の教育レベルの向上、大分市文教地区として子どもが学べ、多様性を発揮し、教育施設を整備するもの、勉強だけではなく、多様性があり、柔軟性のある子どもに育てていけるような施設などを整備できればということで挙げています。④⑤は3世代交流会、みんな集合! ふれあい屋は、3世代一緒に野球をするなどスポーツをはじめ様々な経験を通じてふれあい、交流を図っていくという事業です。

番号	事業名	SWOT分析										コメント
		S	W	O	T	S	W	O	T	S	W	
①	出産子育てが出来、待機児童ゼロ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・これからの世代が住みやすいまちづくり、子育て出産がしやすいまちづくり ・待機児童をゼロに ・子どもが増え、保育士の職場が増え、親が仕事に行ける、良い循環になれば
②	子どもの教育のレベル向上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・中学生の学力が落ちている ・共働きの親の手助けとして、高齢者が手助けしてあげられる取組 →学力、運動能力の向上を図る ・②③の事業は重なる部分がある
③	大分市の文教地区として「子どもを対象とする科学・文化を学べ、多様性を発揮できる教育施設」を整備されたい	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・教育施設整備事業 →科学や文化に触れて多様性を育てる事のできる施設を整備 ・地域の教育レベルは気にするほどではない ・その場所で高齢者の知識や技術、地元企業の技術や産業も教えられたら。 ・②③の事業は重なる部分がある
④	3世代交流会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・萩原は地域の交流が盛ん →ワーキング大会、野球教室など ・お料理教室(郷土料理などを伝える)などで3世代が交流できれば ・地区のイベントが他の地区にも広まれば良い ・④⑤の事業は重なる部分がある
⑤	みんな集合! ふれあい屋	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・核家族が増えている →子どもと高齢者が接する機会が少ない ・高齢者から勉強だけでなく、お土産など色々な経験を子ども達に教えてもらう機会が作られれば ・空家を利用して集まりができれば ・④⑤の事業は重なる部分がある